

社会科 第1学年 単元の学習計画

1 単元・題材で育成をめざす資質・能力 <学習の目標>

知識・技能	思考・判断・表現
学習全体を通して、大まかに日本地図を描けるようにすること。	地理的な見方や考え方及び地図の読図や作図，景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう系統性に留意して計画的に指導すること。その際，教科用図書「地図」を十分に活用すること

2 この単元の学習の系統性

小学校3学年及び4学年	小学校5学年及び6学年
該当なし	(1) 我が国の国土の様子 と国民生活

3 単元・題材名

地理的分野 第1部 世界と日本の地域構成 第2章 日本の姿

4 単元・題材で育成をめざす具体的な資質・能力 <具体的な評価規準>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 大まかに日本地図が描けること ② 日本の位置や領域、地域区分などに関わる語句を理解していること	③ 世界の中の日本について、位置や領域などについて、地理的な見方や考え方に基づいて考えることができる。	④ 自分の担当した調べ学習に積極的に取り組み、班の発表に熱心に取り組んでいる。

5 単元・題材の授業計画

次	時	学習活動	評価規準と評価方法
第1次	1～3	☆都道府県と県庁所在地 「桃太郎電鉄 教育版」を班で日本の各地方をプレイして停まった都市、購入した物件を記録しておく 班で各自が記録したものを合わせて、プレイした地方についての発表を準備する。 日本の各地方について、発表を行う。	◎日本の位置や領域、地域区分などに関わる語句を理解していること
第2次	4～6	☆日本の位置、日本の領域 Google の各ツールの使い方をマスターする。 班で、日本の姿の学習内容の中から1つを担当し、さらに割り当てられた Google スライドを分担し、発表の準備をしていく。	◎日本の位置や領域、地域区分などに関わる語句を理解していること ③世界の中の日本について、位置や領域などについて、地理的な見方や考え方に基づいて考えることができる。

第3次	7 ・ 8	発表の練習を行い、時間なども意識してできるようにしていく。 自分たちの担当した学習内容を、クラスに発表する。 他の班の発表を聞き、各学習内容についてまとめる。 最後にパソコンのペイントで日本地図を描いてみる。	④自分の担当した調べ学習に積極的に取り組み、班の発表に熱心に取り組んでいる。 ①大まかに日本地図が描けること
-----	-------------	---	---

日時 月 日(月) 時間目

場所 1年 組教室

学級 第1年 組 名

本時の指導(8/8) ←← 何時間目/単元授業数

分	学習活動	留意事項	評価の方法	
本時のめあて 様々な面からとらえられる日本について知ろう				
40	(発表する人) 【各班で発表を行う】 日本の領域 日本の位置 時差がちがう国々 北方領土 竹島 尖閣諸島 ・担当した学習内容についてクラスに発表する。	(発表を聞く人) 【発表内容を聞く】 発表について、まとめるワークシートに、聞いて重要だと考えたことを入力する。	・発表しやすい雰囲気をつくる。 ・発表していない時は、前を向き、手元のパソコンで必要なことを入力できるようにする。	④自分の担当した調べ学習に積極的に取り組み、班の発表に熱心に取り組んでいる。 (発表の様子を観察)
50	【ワークシートのまとめ】 各班が発表していた学習内容について、まとめと足りない部分の入力を行う。 パソコンのペイント機能を使って、大まかな日本地図を描き、ワークシートに貼り付ける。	・ここまでの8時間の学習の学習をまとめられるようにうながす	①大まかに日本地図が描けること ②日本の位置や領域、地域区分などに関わる語句を理解していること ③世界の中の日本について、位置や領域などについて、地理的な見方や考え方に基づいて考えることができる。 (ワークシートの記述から)	

校内研究主題 わかる喜び、できる喜びをめざした授業改善

【校内研究のテーマや各教科の目標に迫る取り組み】

○教科の学習内容を、「生徒が生徒へ伝える」調べ学習を行い、わかる喜び、できる喜びを感じさせる。

○ICT を活用し、発表する活動の中でもわかる喜び、できる喜びを感じさせる。